

1. 研究課題名：大気微小粒子におけるハロゲン化芳香族類の発生源と二次的形成能の解明

2. 研究代表者氏名及び所属： 大浦 健
(名城大学農学部)



3. 研究実施期間：平成 23～24 年度

4. 研究の趣旨・概要

代表的は有害大気汚染物質である多環芳香族化合物 (PAH) と塩素化・臭素化ダイオキシン類の構造を併せ持った物質、ハロゲン化 PAH が最近様々な環境から検出されてきた。最近、ハロゲン化 PAH は新たな環境リスク因子として注視されてきたが、未だ不明な点が数多い。本研究ではハロゲン化 PAH の高感度分析法の開発を行い、そして実際の大气分析に適応し、大気中のハロゲン化 PAH の主要な発生源の推定を試みる。さらに、光照射試験からハロゲン化 PAH の大気環境動態の解明を目指す。これらの研究成果は化学物質による曝露リスク評価の高度化、さらに未同定・未規制環境リスク因子の新たな調査や管理に貢献できると思われる。

5. 研究項目及び実施体制

- ①ハロゲン化 PAH 標準品の作製 (名城大学)
- ②ハロゲン化 PAH の大気環境調査 (名城大学)
- ③ハロゲン化 PAH の光反応挙動解析 (名城大学)

6. 研究のイメージ

大気微小粒子におけるハロゲン化芳香族類の発生源と二次的形成能の解明

